

♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2018年1月~2月前半 ♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718

新年あけましておめでとうございます！ 昨年も宗次ホールをご愛顧頂き誠にありがとうございました。
2018年1月3日から5日までは1日2公演のニューイヤー・スペシャル！ おすすめ公演目白押しです♪
本年もどうぞ、よろしくお申し込み申し上げます。

【文責:宗次ホール企画担当 廣田 政子(ひろた まさこ)】

伝統を引き継ぎながらも、
自分の感じたものを表現したい

(辻本玲、本人インタビューより)

辻本 玲 チェロ 須関 裕子 ピアノ

1月20日(土)18:00開演 3,500円(学生2,100円) [指定]



「最近では、奇抜さや新しいことをすることに重きが置かれている演奏も沢山あります。しかし、僕は、作品がどのように弾かれるべきかを考え、巨匠達から受け継がれてきた伝統を引き継ぎつつ、その枠組みの中で自分自身が感じたものを表現したいと思っています。」

そうお話す辻本さんは、宗次ホールでもすっかり常連の演奏家さん。五嶋みどり氏や各種メディアからも大絶賛されるその腕はホンモノ。辻本さんは現在、宗次が代表を務めるNPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されていますが、この楽器についてこんな風にお話されます：「煌びやかで、華やか。ある意味で、チェロっぽくないとも言えるような艶々した美しい音色が独特です。もちろん、低弦は深い音なのですが、A線は本当に特徴的。元々、僕自身も艶々した音色が好きでしたが、このチェロを弾くようになってからは、なお更、艶やかな音を出そうとしています。ちょっと、ヴァイオリンチックかもしれないね。渋いチェロだと、こういう音はできないと思います。楽器のもつキラッとしたものを理解して、そういう方向で弾いていこう。チェロの良さを引き出していこうと思っています。」この楽器も、最初のうちは音量があまり出なかったり、弾き方が今イチわからなかったりと、扱いが大変だったそう。暴れ馬のような感じだったと仰います。それを1年程かけて少しずつ自分好みに調整され、だんだんと良い感じに馴染んできた、とお話されます！素晴らしいですね！「今では、この楽器のおかげで演奏テクニックの引き出しが増えました。名器に恥じない音を出していきたいです」とも。

ピアノを弾くわけではないけれど、ピアノにはずっと憧

れをもってきた、という辻本さん。例えばこの日演奏されるヤナーチェク「おとぎ話」はロシアの詩人ヴァシーリー・ジュコーフスキー(1783-1852)による「皇帝ベレンデイの物語」という詩に基づいていて、皇太子イワンをチェロが、許嫁である王女マリヤをピアノが表現していると言われている、冒頭からとても美しい曲です！須関さんのピアノとの掛け合いが楽しみです！

学生の時に取り組んで以来、20年の時を経て、今の自分が感じるバッハを頑張って演奏したいと思っています！

是非、沢山の方に聴きにきて頂きたいです
(奥村愛、本人インタビューより)

奥村 愛 ヴァイオリン 三輪 郁 ピアノ

1月28日(日)15:00開演 4,000円(学生2,400円) [指定]



12月初旬、別の演奏会で名古屋にいらしていた奥村さんにお会いし、15周年記念リサイタルに向けてお話を伺うことが出来ました！チラシの写真はキリッと美しい奥村さんですが、実物はとても可愛らしく優しい雰囲気の方。5年前、デビュー10周年記念の時も宗次ホールにご出演頂きましたが、その時のことも振り返りながら、お話をしてくださいました。

●(Q) 今回のプログラムはどのように決めましたか？

○(A) 前半はバッハとモーツァルトという古典もの、後半はフォーレとヴェータン、とフランスに縁がある作曲家のものから今弾きたいものを選びました。ヴェータンは自身もヴァイオリニストだったので、ヴァイオリンの良さをとても良く引きだしているのが特徴です。

●バッハのヴァイオリンパルティータ第1番は、学生時代に取り組まれて以来だとか。その頃と異なる点、注目してほしいところなどは？

○この曲は学生の時コンクールの課題曲だったので、その時に相当弾き込んで練習はしたんですが、当時は先生に色々ご指導頂いて、どちらかという自分の音楽というよりも、先生に“創って頂いた”感じになっていた部分もあると思います。そこからまた20年の時を経て、色々なことを経験して、今の自分が感じるバッハを演奏できたらいいな、と思っています。

●10周年リサイタルの折に、「10周年は通過点。演奏することへの想いは変わりません。これからもがんばります」とMCをして下さいましたが、今年15周年を迎えられ、心境はいかがですか？

○その気持ちは今も全く変わっていません、通過点であること、そしてこれからも頑張り続けたいことは今も同じです。

最後に、印象的な奥村さんのことばを。「万人に愛されようとは決して思っていないが、“音楽はいいが人間としては…”という演奏家にはなりたくない。私の音楽を好きと言ってくれる人には、人間的にも魅力的でありたい。人間性は音楽に出ると思うから。」奥村さんの節目となる音楽会です。是非ご来場ください！

素晴らしい音楽性と個性溢れる歌心は、
恐ろしい程の技術によって支えられている。
その組曲ト長調の前奏曲…なんと爽やかで軽やかな弓
使い！こんな優雅なフレージングで弾く組曲を、
未だかつて聴いたことはない

(BBCミュージック・マガジン/英)

アレクサンドル・クニャーゼフ チェロ

2月4日(日)17:00開演 6,000円(学生3,600円)【指定】



「ありふれた教科書的な演奏概念を一切捨て去ったクニャーゼフのバッハ。この音楽史上最も輝く作品達を個性と詩情溢れる解釈で捉えた演奏は、きっと、メンデルスゾーンが“マタイ受難曲”を復活上演した時、それまで100年間忘れ去られていたこの傑作に触れた後期ロマン派の人々が受けたものと同じ衝撃を聴衆に与えるだろう」
(ジュリアン・ヘイロック/音楽評論家)

61年モスクワ生まれのクニャーゼフさん、若い頃から数々の国際コンクールに入賞、類まれなる音楽的才能に恵まれて順風満帆と思われていましたが、その後の人生は想像を絶するもの。モスクワ音楽院在籍中、両手の筋力が低下するという難病に侵され、チェロを持たない日々が5年。その後回復し、78年に3位獲得したチャイコフスキーチェロコンクールに再び挑戦、2位を取るという快挙まで成し遂げます。87年には妻であるピアニスト、エカテリーナと共に室内楽コンクールで1位を獲得したことも。しかしその後94年に再び悲劇が起こります。南アフリカでの演奏旅行の際、交通事故に遭遇。人生でも音楽でも最高のパートナーであったエカテリーナと愛用のチェロを失ってしまうのです。自らも重傷を負い心身ともに再起不能状態に…

しかし、このまま彼の才能を埋もれさせるわけにはいかない、と著名な音楽家達が彼に手を差し伸べます。故エカテリーナの父でありピアニストのミハイル・ヴォスケレンスキーは娘の分まで演奏を続けて欲しいと思ったのでしょうか、その後クニャーゼフさんとの録音を多数残しています。それからロストロポーヴィチも復活の為に楽器や演奏会の世話など、援助を惜しみませんでした。その甲斐あって97年ショスタコーヴィチ音楽祭で見事世界に復帰したクニャーゼフさんは「奇跡のチェリスト」と称され絶賛されたのです。

世界の舞台で輝かしく活躍する華やかさと想像を絶する困難。「光が強ければ影もまた濃い」とはゲーテの言葉ですが、これ程に波乱万丈な人生があるのですね。

そんなクニャーゼフさんによる組曲は、意外とサラリと快速で弾くものから、音の減衰の全てのひだが見えるかのようなゆ〜っくりのものまで様々。劇的な人生を送ってきた故か、余分なものは削ぎ落とされたようなシンプルさと、何か諦念の末の明るさのような、潔さが感じられるような気がします。

全曲堪能できるまたとないチャンスです。良いお席はお早めにご予約ください！

お得なスイーツタイムコンサート ¥2,000

13:30開演 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽を聴いてみたい、昼間に本格的な演奏を楽しみたい、という方にぴったり。国際的に活躍する演奏家から気鋭の若手まで、2,000円ではお得すぎる素晴らしい演奏家達です！

1月19日(金)

グジェゴシュ・ニェムチュク (ピアノ)



ポーランドからのピアニストによるオール・ショパン・プログラム！“ショパンの国からのメッセージを運んでくれるピアニスト”と評されるニェムチュクさん。「ため息のように静かにはじまったマズルカはノスタルジアと詩情に溢れた雰囲気。ノクターンは絶妙なルバート(楽曲の速度を自由に加減して演奏すること)でショパン作品への深い理解を示し、優雅で美しい。練習曲Op. 10-1では力強いバスの上に、虹のようにかけられたアルペジオが駆け巡る。「革命」ではその愛国心が浮き彫りになる力強さ、そしてスケルツォ第2番は説得力をもって美しくも激しく、語られる…」(ショパン・マガジンより)と国内外で高く評価される生粋のショパン弾き。名曲プログラムなので、普段あまりクラシックを聴くことのない方をお誘いしても喜ばれること間違いなしです！♪

の深い理解を示し、優雅で美しい。練習曲Op. 10-1では力強いバスの上に、虹のようにかけられたアルペジオが駆け巡る。「革命」ではその愛国心が浮き彫りになる力強さ、そしてスケルツォ第2番は説得力をもって美しくも激しく、語られる…」(ショパン・マガジンより)と国内外で高く評価される生粋のショパン弾き。名曲プログラムなので、普段あまりクラシックを聴くことのない方をお誘いしても喜ばれること間違いなしです！♪

1月24日(水)

シヨン・シベ (ギター)

要注目若きギタリスト！ギターはピアノやヴァイオリンのように大きなホールで協奏曲を弾くことは難しい楽器ですが、「とても愛らしく純真な、ギターならではの美しい作品は沢山。一方、(この日演奏される)ブリテン：ノクターナルなんかは、異色の作品。彼が手がけた如何なる代表作ともかけ離れた個性をもつ一曲です」とシベさん。これは、聴かないわけにはいきません！乞う、ご期待！

●記載公演いずれもチケットございます！●

チケットのご予約・お問い合わせは

宗次ホールチケットセンターへ

☎052-265-1718 ※1月15,16,17日は休館です